

事業概要

平成 22 年度

がんばろう千葉



チーバくん

千葉市こころの健康センター

目 次

I 概要

1 沿革	1
2 業務の概要	1
3 組織	2
4 施設の位置及び平面図	2
5 歳出決算	3

II 業務実績

1 企画・立案	5
2 技術指導・技術援助	6
(1) サービス調整チーム会議等	6
(2) デイケアクラブに対する技術援助	6
(3) デイケアクラブ情報交換会	6
3 教育研修	7
(1) 精神保健福祉業務基礎研修	7
(2) 精神保健福祉業務実務研修 知識編	7
(3) 精神保健福祉業務実務研修 技能編	7
(4) 社会復帰施設等職員研修	8
(5) 民生委員・児童委員精神保健福祉研修	8
(6) 児童・思春期精神保健福祉研修	8
(7) 講師派遣	9
4 普及啓発	10
(1) 精神保健福祉ボランティア入門講座	10
(2) 精神保健福祉フォローアップ講座	11
(3) 講演会等	12
① 児童・思春期精神保健福祉講演会	12
② アルコール・薬物関連問題講演会	12
③ 地域精神保健福祉講演会	12
④ 出前講座	12
(4) 精神障害者家族のつどい	13
(5) うつ病体験者のつどい	14
(6) 啓発パンフレット	14
① 「事業概要 平成21年度版」の発行	14
② こころの健康センター機関紙「こころ〇まる」の発行	14
③ 案内パンフレット及び冊子の配布	14
5 調査研究	15
(1) 関係協議会等	15
(2) 学会発表	15

(3) 図書の閲覧・貸出	15
①蔵書数	15
②貸出実績	15
6 精神保健福祉相談	16
(1) 精神保健福祉相談	16
①相談件数	16
②相談者と本人の続柄	16
③年齢・性別	16
④援助内容	16
⑤所要時間	16
⑥相談種別	17
(2) こころの電話	18
①相談件数	18
②援助内容	18
③所要時間	18
④相談経路	18
⑤各区分	18
⑥相談種別	19
7 組織育成	20
(1) 千葉県こころのボランティア・あおば	20
①経緯	20
②活動実績	20
③活動支援	20
(2) 精神障害者家族会会員研修	21
(3) サポート講座	21
(4) 関連団体への参加・援助	21
8 精神医療審査会の審査に関する事務	22
(1) 精神医療審査会の開催回数	22
(2) 定期病状報告等の審査	22
(3) 退院等請求審査	22
9 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費（精神通院医療）公費負担に係る判定	23
(1) 精神障害者保健福祉手帳の判定	23
(2) 自立支援医療費（精神通院医療）の判定	23
10 地域自殺対策緊急強化基金事業	24
(1) 人材養成	24
①ゲートキーパー養成研修	24
②職場のメンタルヘルス・セミナー	24
(2) 普及啓発	24
①自殺対策市民講演会	24
②自殺対策パンフレット	24

I 概 要

1 沿革

平成11年の「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」の改正により、都道府県及び政令指定都市は、平成14年度より「精神保健福祉センターを設置することができる」から「精神保健福祉センターを置くものとする」となった。

このため、本市では精神保健福祉センター開設の準備を進め、名称を「こころの健康センター」と定め、平成13年7月に開設した。また、平成21年10月より新施設での業務を開始した。

2 業務の概要

市民の心の健康の保持増進、心の健康に関する知識の普及、精神障害者の人権に配慮した、より良い精神医療の確保や社会復帰等の保健福祉の増進などを図るため、本市の精神保健福祉活動推進のための中核施設として次の業務を行う。

【企画・立案】

専門的立場から、精神保健福祉施策を推進するための企画・立案を行う。

【技術援助・技術指導】

地域で精神保健福祉活動を担っている保健所・保健福祉センター等の関係機関に対し、専門的立場から助言指導を行う。

【教育研修】

保健所・保健福祉センター、社会復帰施設その他の関係機関で精神保健福祉業務にたずさわっている職員に対して、専門的資質の向上のための研修を行う。

【普及・啓発】

心の健康に関する知識の普及と精神障害についての正しい理解ため、各種講演会・講座の開催、パンフレットの発行等を行う。

【調査研究】

精神保健福祉に関する資料の収集、統計及び調査を実施する。

【精神保健福祉相談】

専門医等により、予約制で相談を行う。

- ・不登校やひきこもり等の思春期に起きる問題に関する相談
- ・アルコールや規制薬物等の依存に関する相談
- ・高齢期の精神的健康に関する相談

精神保健福祉士、精神保健福祉相談員等により、随時、精神保健福祉相談を行う。

心の健康に関する相談を受けるための専用回線『こころの電話』を設け、専門員により電話相談を行う。

【組織育成】

ボランティア組織、家族会、当事者の会、協力事業所その他精神保健福祉に関する団体等の活動を支援する。

【精神医療審査会の審査に関する事務】

精神医療審査会の開催事務及び審査遂行上必要な調査、その他当該審査会の審査に関する事務を行う。

【自立支援医療費公費負担及び精神障害者保健福祉手帳の判定】

自立支援医療費（精神通院医療）公費負担及び精神障害者保健福祉手帳の申請に対する判定業務を行う。

3 組織



（平成22年3月31日現在）

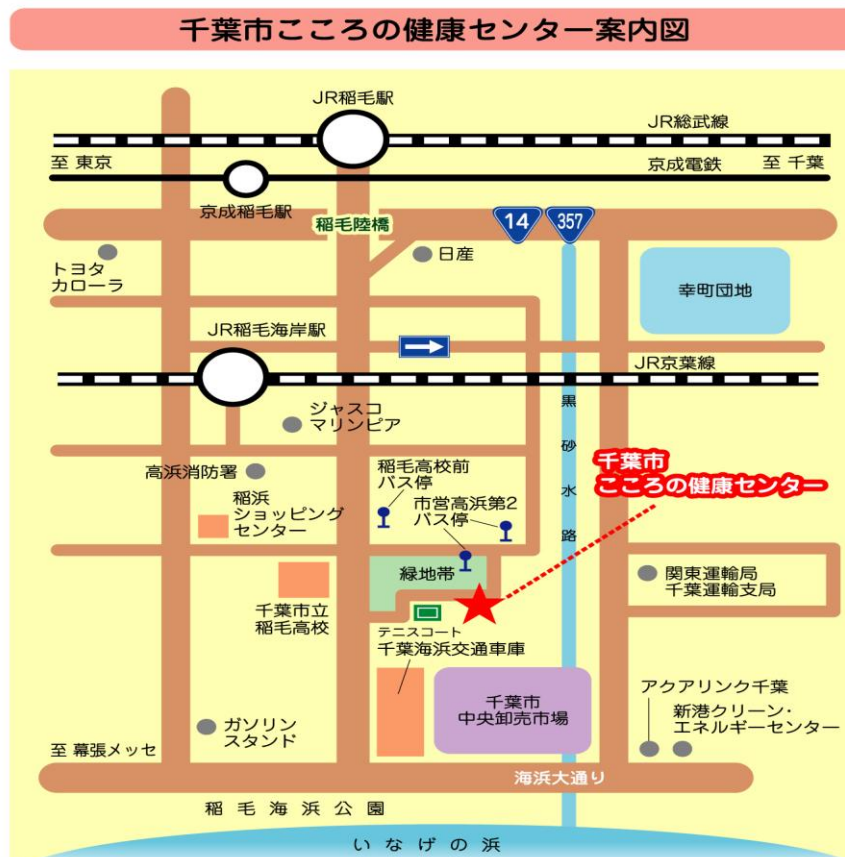
4 施設の位置及び平面図

【所在地】

〒261-0003 千葉市美浜区高浜2-1-16
 TEL 043(204)1582 FAX 043(204)1584
 メールアドレス kokoronokenko.HWS@city.chiba.lg.jp
 ホームページ city.chiba.jp/hws/kokoronokenko/

【利用交通機関】

- JR総武線稲毛駅西口より海浜交通バス利用
 駅前3番のりば「JR稲毛海岸駅」行き（運輸支局入口経由）で「市営高浜第2」下車徒歩3分
- JR京葉線稲毛海岸駅南口より海浜交通バス利用
 駅前3番のりば「JR稲毛駅」行き（運輸支局入口経由）で「市営高浜第2」下車徒歩3分

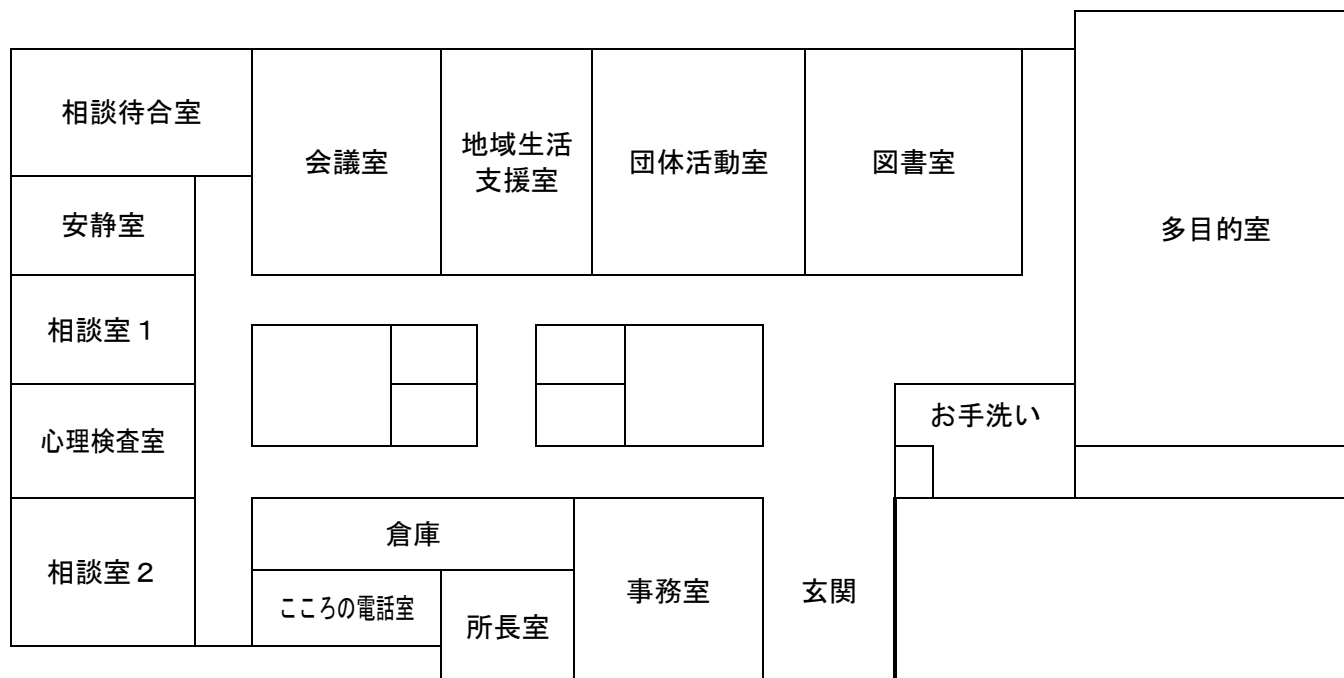


【施設規模】

鉄骨造平屋建

敷地面積：3500㎡ 延べ床面積：1024.80㎡

【平面図】



5 歳出決算

(単位：円)

科 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度
報 酬	9,970,520	9,825,276	9,067,212
共 済 費	293,005	50,966	52,865
報 償 費	1,075,800	1,360,700	1,534,400
旅 費	398,111	215,272	155,440
需 用 費	4,024,970	6,635,725	4,212,364
役 務 費	469,852	475,284	445,043
委 託 料	6,613,271	7,138,718	5,713,958
使用料及び賃借料	3,748,027	18,871,635	275,255
備品購入費	179,550	1,470,846	63,000
負担金、補助及び交付金	80,500	70,500	97,000
公 課 費	8,800	17,600	7,600
合 計	26,862,406	46,132,522	21,624,137

Ⅱ 業務実績

1 企画・立案

地域精神保健福祉を推進するため、精神保健福祉関連施策に関する会議に出席し、専門的立場から提案等を行った。

会議名	主催	主な内容
千葉県精神保健福祉協議会 理事会	千葉県 精神保健福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県・千葉市ワトパレボール大会について ・心のふれあいフェスティバルについて ・地域移行支援セミナーについて その他
千葉市地域自立支援協議会	千葉市 障害者自立支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・運営事務局会議について ・相談支援事業の実績報告について ・地域部会の実績報告について
子ども・若者支援地域協議会 体制整備モデル事業における 地方企画委員会	株式会社野村総合研 究所（内閣府委託）	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の概要、本年度の授業計画及び方針 ・協議会の在り方
精神・難病業務に係る保健活 動情報交換会	千葉市保健所 保健指導課	<ul style="list-style-type: none"> ・精神及び難病患者・家族への訪問指導について ・精神及び難病患者・家族への支援に係る係間 及び他機関との連携状況について
要保護児童対策及びDV防止 地域協議会	各区こども家庭課	<ul style="list-style-type: none"> ・区の要保護児童の概要 ・ケースの進行管理について
医療観察制度地域連絡協議会	千葉保護観察所	<ul style="list-style-type: none"> ・医療観察制度の概要及び施行後の制度状況
千葉県医療観察制度運営連絡 協議会	千葉保護観察所	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度心神喪失者等医療観察制度実施 状況等について
千葉市発達障害者支援連絡協 議会	千葉市発達障害者支 援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフサポートファイルの周知状況について ・千葉市発達障害者支援センターの取り組みについて ・発達障害者支援の今後の方向性
千葉県自殺対策連絡会議 自殺対策相談機関連絡調整部会	千葉県 健康づくり支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策相談機関連絡調整部会について ・相談機関の情報交換について ・共通マニュアルの作成について
千葉県自殺対策連絡会議	千葉県 健康づくり支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県の自殺者数の現状等について ・平成22年度の事業実績について ・平成23年度の事業予定について
電話相談に関する情報交換会	千葉県精神保健福祉 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・各機関からの相談対応状況報告
千葉市職員健康審査会	千葉市 人材育成課	<ul style="list-style-type: none"> ・傷病による職員の休職に関すること ・傷病により休職中の職員の復職に関すること
千葉市障害者施策推進協議会	千葉市 障害企画課	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次千葉市障害者計画素案について

2 技術指導・技術援助

地域で精神保健福祉活動を担っている保健所・保健福祉センターなどの関係機関に対し、専門的立場からの助言指導を行った。

(1) サービス調整チーム会議等

年月日	実施主体	会場	名称	議題
H22. 8. 18	緑保健福祉センター健康課	緑保健福祉センター	サービス調整チーム会議	知的障害者宅の隣家からの苦情問題

(2) デイケアクラブに対する技術援助

保健センター・保健福祉センターにて精神障害者の社会復帰を支援するため実施しているデイケアクラブに参加し、助言指導を計6回実施した。

(3) デイケアクラブ情報交換会

各区保健福祉センター健康課デイケアクラブ担当者が集まり、デイケアクラブ事業を中心とした精神保健福祉業務に関する情報交換会を、当センターで12月16日に実施した。

3 教育研修

保健所・保健福祉センター、医療機関等の関係機関で精神保健福祉業務に携わっている職員に対して、研修を行うことにより資質の向上を図った。

(1) 精神保健福祉業務基礎研修

保健所・保健福祉センター、福祉事務所等の職員を対象に、精神保健福祉業務を推進する上で必要な知識と技術の習得を目的とした研修を、こころの健康センターにおいて実施した。

年 月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
H 2 2 . 6 . 1 4	精神疾患とは、精神障害とは ・精神疾患の基礎知識 ・精神障害の特性	くすの木クリニック 院長（精神科医） 高橋 真三樹	4 6 名
	精神障害者の福祉 ・精神障害者福祉に関する法制度の歩み ・精神障害者福祉の現状と課題	せんげん通りクリニック 副院長（精神保健福祉士） 奥山 宏一	
	家族の声 ・家族の体験 ・家族の思い	精神障害者家族会 会員	
	当事者の声 ・当事者の体験 ・当事者の思い	当事者	

(2) 精神保健福祉業務実務研修 知識編

年 月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
H 2 2 . 1 0 . 1 4	パーソナリティ障害の理解と対応	きっかわクリニック 院長 橋川 清人氏	4 7 名

(3) 精神保健福祉業務実務研修 技能編

年 月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
H 2 2 . 6 . 1 5	発達障害について学ぶ ～発達障害者支援センターにおける相談の実際～	発達障害者支援センタ ー 就労支援員 加瀬幹生氏	2 6 名
H 2 2 . 9 . 8	アルコール依存からの回復 ～自助グループ及び家族会の活動をとおして～	自助グループAA会員 家族会アラノン会員	1 5 名
H 2 2 . 1 1 . 1 6	精神疾患を持つ方の生活習慣病予防	日本イーライリリ株式会社 管理栄養士 北岡かおり氏	1 5 名

(4) 社会復帰施設等職員研修

障害福祉サービスを行う事業所その他の関係機関で精神保健福祉業務に従事する職員を対象に、専門的技術の向上を目的として、主に事例検討（実践報告）をこころの健康センターにおいて実施した。

年 月 日	発表者	助言者	参加者数
H22. 6. 16	児童家庭支援センター旭ヶ丘 相談員 鶴田 しげ子	ちば心理教育研究所 所長 光元 和憲	11名
H22. 8. 30	旭ヶ丘母子ホーム 母子相談員 玉木 邦子	〃	14名
H22. 11. 29	千潮会作業所 所長 田中 浩子	〃	12名
H23. 1. 21	NPO法人スペースぴあ 理事長 木村 潔	(実践報告)	17名
H23. 2. 9	千葉市こころのボランティアあおば ボランティア 加藤 隆子	ちば心理教育研究所 所長 光元 和憲	6名

(5) 民生委員・児童委員精神保健福祉研修

民生委員・児童委員を対象に、地域精神保健福祉の充実を図ることを目的とした研修を実施した。

年 月 日	会 場	テ ー マ	講 師	参加者数
H22. 10. 25	千葉市総合保健 医療センター	慢性精神障害をもつ人を どう支えるか ～統合失調症と慢性うつ病を中心 として～	石郷岡病院 院長 三宅 俊樹	84名

(6) 児童・思春期精神保健福祉研修

小学校、中学校、特別支援学校、高等学校の教員を対象に、思春期事例と関わる上で役立つ知識と技術の習得を目的とした研修を、こころの健康センターにおいて実施した。

年 月 日	内 容	助言者	参加者数
H22. 8. 24	事例検討 小学生の問題	前 千葉県中央児童相談所長 水鳥川 洋子	11名
	事例検討 中学生の問題	房総双葉学園 園長 小木曾 宏	9名

(7) 講師派遣

他機関からの依頼に応じ、精神科医である井上俊宏（所長）等が講義を行った。

年月日	実施主体	会場	テーマ	参加者数
H22. 6. 11	千葉市民生委員児童委員協議会	千葉市 ハーモニープラザ	高齢者の『うつ』について	9名
H22. 7. 9	新世紀ちば健康プラン推進協議会	千葉市総合保健医療センター	ストレス社会とメンタルヘルス	85名
H22. 8. 26	千葉市社会福祉協議会 千葉市社会福祉研修センター	千葉市 ハーモニープラザ	『うつ』の予防と付き合い方	50名
H22. 9. 14	千葉市青葉看護専門学校	千葉市青葉看護専門学校	公衆衛生学・精神保健	40名
H22. 9. 27	中央保健福祉センター健康課	Qiball(キボール)	心の健康を大切に	40名
H23. 1. 13	若葉家族会	若葉保健福祉センター	こころの健康センターについて	7名
H23. 1. 25	千葉市 ことぶき大学校	千葉市 ハーモニープラザ	心の健康 =うつ病を予防する=	200名

4 普及啓発

心の健康に関する知識の普及と精神障害についての正しい理解のため、市民を対象に各種講演会・講座を開催した。

(1) 精神保健福祉ボランティア入門講座

精神保健福祉に関する理解を深めるとともに、精神保健福祉ボランティアとして活動できる人材の育成を図るため、ボランティア入門講座をこころの健康センターにおいて開催した。

年 月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
H 2 2 . 7 . 2	「精神を病む」とはどういうことか ～精神科疾患の基礎知識～	木更津病院 精神科医 関根 博	2 6 名
	グループワーク	センター職員	
	ボランティア体験について		
H 2 2 . 7 . 5	精神障害をもつってどんなことだろ う・地域で生きるってどんなことだろ う ～私たちにできること～	フリーランスナース&ソー シャルワーカー 土屋 徹	2 3 名
	グループワーク	センター職員	
H 2 2 . 7 . 8	精神保健福祉のボランティアを始め るにあたって	千葉市こころのボランティ ア・あおば 会員	2 2 名
	グループワーク	センター職員	
	フォローアップ講座の案内		
H 2 2 . 7 ~ 8 月	希望者によるボランティア体験	「フリースペースあおば」 参加 7月15日	7名
		「フリースペースあおば」 参加 8月5日	7名
		「フリースペースあおば」 参加 8月19日	1名

(2) 精神保健福祉フォローアップ講座

ボランティア入門講座終了者を対象に、精神保健福祉ボランティアとして活躍できる人材の育成を図るため、フォローアップ講座を開催した。

年 月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
H 2 2 . 9 . 9	オリエンテーション 施設作業所について説明	センター職員	11名
	精神障害を抱える人への対応のコツ ～講義とワーク～	臨床心理士 中村 はるみ	
H 2 2 . 9 . 1 5	オリエンテーション	センター職員	9名
	地域活動支援センターでの支援の実際	ハートケアセンターちば センター長 小松 あや子	
	施設利用者の話	ステップちば利用者	
	グループワーク 本日のまとめ	センター職員	
H 2 2 . 9 . 3 0	オリエンテーション	センター職員	8名
	家族の立場から	千葉県精神障害者家族会 連合会 会員	
	ボランティアの心構えと ボランティアセンターの役割	千葉県ボランティアセンター 職員 丸山 善大	
	実習へ向けての注意事項	センター職員	
	質疑応答 まとめ		
ボランティア体験			9名
施設・作業所実習			延べ24名
H 2 2 . 1 1 . 4	オリエンテーション	センター職員	9名
	実習体験の発表		
	グループワーク	千葉県こころのボランティア あおば 会員	
	まとめ・修了式	センター職員	

(3) 講演会等

①児童・思春期精神保健福祉講演会

子どもの心の問題への理解を深め、適切な対応と援助について考える機会とすることを目的に、講演会を開催した。

年 月 日	テ ー マ	講 師	会 場	参加者数
H 2 2 . 8 . 2 4	子どもが健全に育つには	前 千葉県中央児童相談所長 水鳥川 洋子	こころの健康センター	6 6 名

②アルコール・薬物関連問題講演会

アルコール・薬物等の依存に関する正しい知識の普及を図るため、講演会を開催した。

年 月 日	テ ー マ	講 師	会 場	参加者数
H 2 3 . 1 . 2 9	お酒への依存からの回復 ～その治療と回復者の体験談～	船橋北病院 医療相談部長 小野 仁彦 A A ・アラノン	こころの健康センター	4 9 名

③地域精神保健福祉講演会

心の健康に関する知識と精神障害の正しい理解についての普及啓発を目的とした講演会を、各区において開催した。

年月日	テ ー マ	講 師	会 場	参加者数
H22. 5. 21	「高齢者のメンタルヘルス」 心のメタボ対策で、4つの“D”を防ごう	精神科医師・法学士 井貫 正彦	中央保健福祉センター	1 6 名
H22. 6. 1	うつ病 －病気の理解と対応－	石郷岡病院 院長 三宅 俊樹	美浜保健福祉センター	5 6 名
H22. 8. 26	ストレスとこころの病	きっかわクリニック 院長 橋川 清人	緑保健福祉センター	4 7 名
H22. 10. 15	「社会不安障害について」 ～ひきこもりと社会不安～	磯ヶ谷病院 院長 根本 豊實	若葉保健福祉センター	5 6 名
H22. 11. 25	認知行動療法について	千葉大学医学部附属病院 こどものこころ診療部 准教授 中里 道子	稲毛保健福祉センター	8 1 名
H22. 12. 14	統合失調症の基礎知識 ～症状、治療、回復～	木更津病院 精神科医師 櫻井 大路	花見川保健福祉センター	9 1 名

④出前講座

こころの健康センターの事業などについて理解を深めてもらうため、市民からの依頼に応じ、所長（精神科医）、所長補佐が市民の集会や会合などに出向いて説明を行った。

年 月 日	テ ー マ	受 講 者	参加者数
H 2 2 . 9 . 1 3	精神疾患と自殺予防について	市内高齢者福祉施設等施設長及び事務担当者	7 0 名
H 2 2 . 9 . 1 7	精神疾患と自殺予防について	千葉市大型店会会員	2 0 名
H 2 2 . 1 0 . 5	精神疾患と自殺予防について	関東森林管理局千葉森林管理事務所職員	3 0 名
H 2 2 . 1 0 . 1 2	精神疾患と自殺予防について	介護支援専門員	6 5 名

(4) 精神障害者家族のつどい

精神障害者の家族を対象に、精神疾患、リハビリテーション、福祉制度等に関する講演と、家族同士の情報交換及び相互交流を目的とした話し合いを、こころの健康センターにおいて実施した。

年 月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
H 2 2 . 4 . 1 6	精神障害者の就労について ～現状・課題・希望～	就労支援施設ピオラ 就労支援担当 石井 雅也	4 4 名
	話し合い		1 6 名
H 2 2 . 5 . 1 8	家族の対応 ～あなたの力が家族を変える～	S S T リーダー 高森 信子	7 9 名
	話し合い		1 9 名
H 2 2 . 6 . 2 5	親なき後の生活	中村古峡記念病院 精神保健福祉士 安藤 知行	9 2 名
	話し合い		2 7 名
H 2 2 . 7 . 7	統合失調症を学ぶ ～症状・治療・回復～	緑こころのクリニック 院長 川上 秀夫	1 1 2 名
	話し合い		2 2 名
H 2 2 . 9 . 1	ピアサポートのご案内 ～訪問・同行サポート～	こころのピアサポートセンター 職員・ピアサポーター	3 2 名
	話し合い		1 0 名
H 2 2 . 1 0 . 7	「千葉兄弟姉妹の会」の活動 ～兄弟姉妹にできること～	千葉兄弟姉妹の会 会員	2 7 名
	話し合い		1 3 名
H 2 2 . 1 1 . 1 2	カウンセリングとは何か ～できること・できないこと～	日本産業カウンセラー協会 シニア産業カウンセラー 大槻 敏子	3 6 名
	話し合い		8 名
H 2 2 . 1 2 . 1 5	訪問看護ってなあに？ 居宅介護ってどんなサービス？	ヘルスマネジメントあおぞら 理事長 漆崎 育子	2 0 名
	話し合い		4 名
H 2 3 . 1 . 2 5	就労支援の話 ～本気で就労を目指す人のために～	就労支援センター ウイング・ル・ヒューマンサポート千葉 施設長・スタッフ	5 2 名
	話し合い		1 8 名
H 2 3 . 2 . 2 5	精神障害と法律の話 ～家族として心得ておくこと～	みどり総合法律事務所 弁護士 山村 清治	4 9 名
	話し合い		7 名
H 2 3 . 3 . 1 1	双極性感情障害（躁うつ病）の話	中村古峡記念病院 精神科医 西川 寧	5 2 名
	話し合い		—

(5) うつ病体験者のつどい

対人関係が苦手でうつが長引いている人を対象に、自己理解と自己表現を目標にしたグループワークをこころの健康センターにおいて実施した。

年 月 日	参加者数	年 月 日	参加者数
H 2 2 . 4 . 8	1 8 名	H 2 2 . 5 . 1 3	1 6 名
H 2 2 . 6 . 1 0	1 7 名	H 2 2 . 7 . 8	1 5 名
H 2 2 . 8 . 1 2	1 5 名	H 2 2 . 9 . 9	1 9 名
H 2 2 . 1 0 . 1 4	1 2 名	H 2 2 . 1 0 . 2 6	1 2 名
H 2 2 . 1 1 . 1 1	1 3 名	H 2 2 . 1 2 . 9	1 3 名
H 2 2 . 1 2 . 2 8	5 名	H 2 3 . 1 . 1 3	1 0 名
H 2 2 . 1 . 2 5	8 名	H 2 3 . 2 . 1 0	1 0 名
H 2 3 . 2 . 2 2	8 名	H 2 3 . 3 . 1 0	1 0 名
H 2 3 . 3 . 2 2	5 名		

(6) 啓発パンフレット

①「事業概要 平成21年度版」の発行

400部を発行し、関係機関へ配布した。

②こころの健康センター機関紙「こころ〇まる」の発行

年2回、各1000部発行し、関係機関及び市民へ配布した。

③案内パンフレット及び冊子の配布

こころの健康センター案内パンフレット及び心の健康に関する様々な種類の冊子に関係機関及び市民へ配布した。

5 調査研究

精神保健福祉に関する資料の収集、統計及び調査を実施し、学会発表を行った。また、調査研究の一助として精神保健福祉に関する図書の閲覧・貸出を行った。

(1) 関係協議会等

関連団体名	活動内容
全国精神保健福祉センター長会	精神保健福祉センターの事業及び運営の向上に関することや連携に関して協議する。
(研究協議会)	全国の精神保健福祉センターの実践報告を行う。
(大都市部会)	政令指定都市の問題点について、協議、情報交換を行う。
関東信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会	関東信越地域の精神保健福祉センター相互の連携を深め、精神保健福祉に関する諸問題を多面的に討議し、各センター事業の充実に資する。

(2) 学会発表

年 月 日	学会名称	演 題
H 2 3 . 2 . 1 0	千葉県公衆衛生学会	ボランティアグループ活動支援についての考察

(3) 図書の閲覧・貸出

調査・研究の一助として、精神保健福祉に関する図書の閲覧・貸出及び、DVD・ビデオの館内視聴を行った。関係機関に対しては、DVD・ビデオの貸出も行った。

①蔵書数

約3, 223冊

②貸出実績

	平成21年度	平成22年度
冊 数	256冊	261冊
実人数	54名	73名
延人数	119名	122名

6 精神保健福祉相談

(1) 精神保健福祉相談

嘱託医による、アルコール・薬物関連精神保健福祉相談、思春期精神保健福祉相談、高齢者精神保健福祉相談、複雑困難事例への精神保健福祉相談を毎月、予約制で実施した。

また、精神保健福祉相談員、保健師、心理判定員、精神保健福祉士による精神保健福祉相談を随時、実施した。

①相談件数

ア) 相談件数

(単位:件)

	新規	継続	合計
H21年度	932	29	961
H22年度	1190	30	1220

イ) 相談延件数

(単位:件)

	来所	電話	訪問	手紙	合計
H21年度	265	1,306	0	1	1,572
H22年度	273	1,804	0	0	2,077

②相談者と本人の続柄別分類件数(新規分)

(単位:件)

本人	夫・妻	父・母	娘・息子	兄弟姉妹	祖父母	嫁・婿	親族	知人	近隣	関係機関	合計
590	102	289	51	47	6	7	36	32	4	26	1190

③本人の年齢・男女別分類件数(新規分)

ア) 年齢別

(単位:件)

0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不明	合計
10	89	109	157	141	64	72	62	17	469	1190

イ) 男女別

(単位:件)

男	女	不明	合計
477	679	32	1190

④援助内容別件数(新規分)

(単位:件)

助言	他機関紹介	来所予約	回答・説明	傾聴	その他	合計
429	222	191	66	270	12	1190

⑤所要時間別件数(新規分)

(単位:件)

10分未満	10～29分	30～59分	60分以上	合計
266	601	253	70	1190

⑥相談種別件数

(単位：件)

相談種別		新規相談	継続相談	再相談※	計
児童・思春期に関する相談		99	1	37	137
内訳	不登校	16	0	9	25
	ひきこもり	8	0	4	12
	発達障害	7	0	0	7
	精神症状・治療	36	0	8	44
	非行・反社会的行動	5	1	7	13
	その他	27	0	9	36
高齢期に関する相談		61	1	19	81
内訳	認知症状態	17	0	7	24
	精神症状・治療	31	0	9	40
	介護	6	0	0	6
	その他	7	1	3	11
アルコール依存に関する相談		71	0	23	94
規制薬物等の依存に関する相談		8	0	0	8
内訳	覚せい剤	4	0	0	4
	有機溶剤	0	0	0	0
	その他の薬物	4	0	0	4
精神障害者の社会復帰等に関する相談		169	13	462	644
内訳	日常生活（過ごし方、対人関係、家事育児）	82	10	360	452
	就労訓練・社会参加（居場所）	55	1	88	144
	年金・医療費・手帳等経済的問題	20	2	2	24
	その他	12	0	12	24
心の健康づくりに関する相談		369	5	188	562
内訳	社会的ひきこもり	34	0	23	57
	大人の発達障害	8	0	9	17
	ドメスティックバイオレンス（DV）	11	0	1	12
	児童虐待	0	0	0	0
	家庭内の諸問題	148	2	57	207
	人間関係（職場・近隣・友人等）	69	2	62	133
	社会適応上の困難・ストレス	49	1	26	76
	性に関する相談	7	0	2	9
	アルコール・薬物以外の依存	18	0	7	25
	その他	25	0	1	26
うつ・うつ状態		140	2	46	188
内訳	うつ・うつ状態	119	2	43	164
	希死念慮	21	0	3	24
一般精神保健福祉相談		247	8	82	337
内訳	精神症状	105	3	32	140
	治療・薬	48	3	16	67
	受診・医療機関	83	2	32	117
	その他	11	0	2	13
その他		26	0	0	26
内訳	犯罪被害	1	0	0	1
	身体上の問題	5	0	0	5
	上記のいずれにも属さないもの	20	0	0	20
合計		1190	30	857	2077

※再相談の件数：平成22年度中に相談歴のある者から、再び相談があった延べ件数

(2) こころの電話

こころの健康づくり推進事業の一環として、心の健康に関する相談専用電話【こころの電話】
 ≪専用電話番号：043-204-1583≫を設置し、相談に応じた。

①相談件数

(単位：件)

	合 計
平成21年度	1,930
平成22年度	1,807

②援助内容別件数 (重複あり)

(単位：件)

助 言	傾 聴	他機関紹介	回答・説明	来所予約	その他	合 計
578	1,498	210	152	28	35	2,501

③所要時間別件数

(単位：件)

10分未満	10～29分	30～59分	60分以上	合 計
408	1,021	332	46	1,807

④相談経路別件数

(単位：件)

保健所・保健センター	32
行政機関	27
医療機関	27
市政だより	29
ポスター・ちらし	15
福祉関係機関	2
教育関係機関	1
市民便利帳	19
インターネット・図書	43
既知	1,115
不明	482
その他	15
合 計	1,807

⑤各區別件数

(単位：件)

中央区	94
花見川区	278
稲毛区	195
若葉区	107
緑区	34
美浜区	33
市内	580
市外	68
不明	418
合 計	1,807

⑥相談種別件数

(単位：件)

相談種別		主	従
児童・思春期に関する相談		30	9
内訳	不登校	6	0
	ひきこもり	5	2
	発達障害	2	1
	精神症状・治療	7	1
	非行・反社会的行動	3	1
	その他	7	4
高齢期に関する相談		23	2
内訳	認知症状態	8	1
	精神症状・治療	4	0
	介護	4	1
	その他	7	0
アルコール依存に関する相談		16	5
規制薬物等の依存に関する相談		0	0
内訳	覚せい剤	0	0
	有機溶剤	0	0
	その他の薬物	0	0
精神障害者の社会復帰等に関する相談		611	70
内訳	日常生活（過ごし方、対人関係、家事育児）	537	46
	就労訓練・社会参加（居場所）	44	10
	年金・医療費・手帳等経済的問題	18	13
	その他	12	1
心の健康づくりに関する相談		501	92
内訳	社会的ひきこもり	29	6
	大人の発達障害	18	2
	ドメスティックバイオレンス（DV）	3	4
	児童虐待	6	1
	家庭内の諸問題	197	39
	人間関係（職場・近隣・友人等）	121	9
	社会適応上の困難・ストレス	55	22
	性に関する相談	8	3
	アルコール・薬物以外の依存	13	4
	その他	51	2
うつ・うつ状態		90	44
内訳	うつ・うつ状態	79	34
	希死念慮	11	10
一般精神保健福祉相談		263	80
内訳	精神症状	90	33
	治療・薬	39	30
	受診・医療機関	104	16
	その他	30	1
その他		273	13
内訳	犯罪被害	3	0
	身体上の問題	25	8
	上記のいずれにも属さないもの	245	5
合計		1,807	315

7 組織育成

家族の会、ボランティア組織、協力事業所の会、その他精神保健福祉に関する団体等の活動を支援した。

(1) 千葉県こころのボランティア・あおば

①経緯

平成11年6月～7月に障害保健福祉課主催で開催した精神保健福祉ボランティア入門講座（全6回）の受講生の有志により、平成11年9月「心のボランティアちば・千葉支部『あおば』」として発足。事務局を保健所に置く。こころの健康センター開設に伴い、平成13年7月から事務局をこころの健康センターに移す。平成18年度より「千葉県こころのボランティア・あおば」と名称変更し、活動している。

②活動実績

1) 定期的に行っている活動

フリースペース（原則第1、3木曜日）	月2回
県庁福祉ショップ「ふれあい」販売員	月2～3回
「あおばの風」発行	年2回

2) イベントの開催、運営、手伝い

心のふれあいフェスティバル	H22. 5. 12
ディライトフルフェスタ	H22. 10. 13
栗の木まつり	H22. 10. 23
ふれあいボウリング大会	H22. 11. 8
ソフトバレーボール大会	H22. 11. 26
スプリングフェスティバル	H23. 3. 6
千葉市民活動フェア	年2回
こころの健康教室	H23. 2. 6

3) 講師派遣・実習受け入れ等

市ボランティア入門講座 講師派遣	H22. 7. 8
市ボランティア入門講座 実習受け入れ（フリースペース）	年3回
市フォローアップ講座 講師派遣	H22. 11. 4

4) 会議・研修会等

定例会	毎月第4月曜日
総会	H22. 4. 26
千葉県ボランティア連絡協議会	年2回
自主研修（あおば研修、ステップアップセミナー）	年2回
施設見学	年1～2回

③活動支援

定例会に12回、「フリースペースあおば」に5回参加し、助言等を行った。

(2) 精神障害者家族会会員研修

精神障害者家族会に所属する者を対象に、家族会活動に必要な知識や技術の習得を目的とした研修を、こころの健康センターにおいて開催した。

年 月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
H 2 3 . 3 . 2 4	「認知症の人と家族の会」から学ぶ、 家族会の運営と活動	認知症の人と家族の会 千葉県支部 副代表 広岡 成子	1 3 名

(3) サポート講座

今までに精神保健福祉ボランティア入門講座を受講した方や現在精神保健福祉ボランティアとして活動している方、千葉市こころのボランティア・あおばの会員等を対象に、講義と交流を取り入れた講座を実施し、ボランティア活動への支援を行った。

年 月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
H 2 2 . 1 1 . 2 2	地域で支え合う暮らし ～つくりっこの家のあゆみ～	つくりっこの家 所長 明星 マサ 施設利用者、ボランティア	1 8 名

(4) 関連団体への参加・援助

地域精神保健福祉の向上を図るため、精神保健福祉に関係する諸団体への参加・援助を行った。

関連団体名	活動内容
スポーツ推進実行委員会	精神障害を有する選手が、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、市民の障害に対する理解を深め、精神障害者の社会参加の推進ならびに精神障害者のスポーツ振興に寄与することを目的として活動する。

8 精神医療審査会の審査に関する事務

精神医療審査会の開催事務及び審査遂行上必要な調査、その他当該審査会の審査に関する事務を行った。

(1) 精神医療審査会の開催回数

A合議体	B合議体	C合議体	臨時	合計
6	6	6	1	19

(2) 定期病状報告等の審査件数

(単位:件)

件数	措置入院患者定期病状報告書	6
	医療保護入院届	1, 179
	医療保護入院患者定期病状報告書	378
	合計	1, 563
結果	入院等は適当	1, 545
	他の入院形態への移行が適当	0
	入院継続不要	0
審査中		45

(3) 退院等請求審査件数

(単位:件)

区分	請求件数	審査件数	審査結果			審査中
			入院継続又は 処遇適当	他の入院形態へ の移行が適当	入院不要又は 処遇不適当	
退院請求	37	25	24	0	1	3
処遇改善請求	5	4	3	0	1	0
合計	42	29	27	0	2	3

9 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費（精神通院医療）公費負担に係る判定
 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費（精神通院医療）公費負担の判定会を17回開催した。

(1) 精神障害者保健福祉手帳の判定件数

(単位：件)

1級	2級	3級	返 戻	非該当	合 計
353	705	333	64	6	1,461

(2) 自立支援医療費（精神通院医療）の判定件数

(単位：件)

該 当	返 戻	非該当	合 計
3,857	36	1	3,894

10 地域自殺対策緊急強化基金事業

国の緊急自殺対策である「地域自殺対策緊急強化交付金」に基づいて、自殺対策の強化を図るため、人材養成事業、普及啓発事業を実施した。

(1) 人材養成

①ゲートキーパー養成研修

自殺の危険性を示すサインに気づき、適切な対応ができる人材養成のため、自殺危機にある人と接する機会のある関係者を対象に研修会を開催した。

年 月 日	会 場	テ ー マ	講 師	参加者数
H23. 3. 7	こころの健康センター	自死問題の本質を考える ～何をすれば自死予防になるのか～	「過労死の労災申請」著者 諏訪 裕美子 働くもののいのちと健康を守る 東京センター 副理事長 色部 祐 自殺対策に取り組む僧侶の会 代表 藤澤 克己 袖ヶ浦さつき台病院 院長 菊池 周一 ちば心理教育研究所 所長 光元 和憲	145名

②職場のメンタルヘルス・セミナー

職場のメンタルヘルスについて正しい理解を促すため、関係者等を対象に研修会を開催した。

年 月 日	会 場	テ ー マ	講 師	参加者数
H22. 9. 11	こころの健康センター	急増する過労死・過労自殺 ～あなたの会社の従業員・ 家族は大丈夫？～	「過労死の労災申請」 著者 諏訪 裕美子	30名

(2) 普及啓発

①自殺対策市民講演会

自殺に関する正しい知識の普及啓発により、市民一人ひとりが自殺予防の主役となって取り組めるよう、市民向け講演会を開催した。

年 月 日	会 場	テ ー マ	講 師	参加者数
H22. 9. 10	京葉銀行文化プラザ	自死という“いのち”の問題にどう向き合うか？	自殺対策に取り組む僧侶の会 代表 藤澤 克己	50名

②自殺対策パンフレット

自殺未遂者支援パンフレット「死にたい気持ちになったことのある方へ」及び、自死遺族支援パンフレット「ご家族や大切な人を自死で亡くされた方へ」を各2000部発行し、関係機関へ配布した。

事業概要
平成22年度

千葉市こころの健康センター

〒261-0003

千葉市美浜区高浜2-1-16

TEL 043(204)1582

FAX 043(204)1584

e-mail kokoronokenko.HWS@city.chiba.lg.jp

